



2021年4月27日

川崎重工業株式会社

ヤンマーパワーテクノロジー株式会社

株式会社ジャパンエンジンコーポレーション

舶用水素燃料エンジンの共同開発に合意

川崎重工業株式会社（以下、川崎重工）、ヤンマーパワーテクノロジー株式会社（以下、ヤンマーパワーテクノロジー）、株式会社ジャパンエンジンコーポレーション（以下、ジャパンエンジンコーポレーション）の3社は、本日、純国産エンジンメーカーとしての技術を結集するコンソーシアムを結成し、外航・内航大型船向けに世界に先駆け舶用水素燃料エンジンを共同開発することに合意しました。

温室効果ガス削減の動きが加速する中、舶用エンジンにおいても各種代替燃料への転換が想定されており、本コンソーシアムは、発電やモビリティなどの各産業界においてサプライチェーンの世界的な拡大が期待され、温室効果ガス排出ゼロの達成が可能な水素燃料に着目しました。3社は、基礎燃焼解析や素材、シール技術開発、船級規則対応などの共通技術要素で連携を図り、各社が2025年頃の舶用水素燃料エンジンの市場投入を目指します。また、川崎重工が中速4サイクルエンジン、ヤンマーパワーテクノロジーが中・高速4サイクルエンジン、ジャパンエンジンコーポレーションが低速2サイクルエンジンの開発に取り組むことで、船舶用主機・補機や発電用など、様々な用途に対応可能なラインナップを同時並行で完成させます。さらに船舶用水素燃料貯蔵・供給装置を加え、水素燃料推進システムを備えたシステムインテグレーションを実現します。

本コンソーシアムは、各社固有技術を搭載した自社開発エンジンがベースの舶用水素燃料エンジンを世界に先駆け共同開発・市場投入することで、日本の造船業における水素燃料船の早期建造に貢献します。さらには、将来的な水素燃料船の普及拡大を通し、日本海事産業の活性化と持続可能な社会の実現を目指します。

以上